

令和4年度 事業計画（案）

1. 事業実施の方針

新型コロナウイルスの感染拡大防止をふまえ、実地でのアート展はすべて中止。利用者の打ち出し方のチャンスとして恒例のエキスポはネットでの開催とする。利用者の個性確立の機会ととらえ実施する。つまり方針は個性確立とする。開催概要は添付のごとく

第12回 国際チャレンジドアートエキスポインジャパン2022 開催概要（案）

開催目的：障がい者がつくる芸術品（オンリーワンアート）を世に紹介し、この事業の原点となった“わんぱく学園”の活動の歴史を通じて真の福祉のあるべき姿を考える。

テーマ：真の福祉とは～

時期：2022年12月（予定）

主催：特定非営利活動法人サポートセンターどりーむ、わんぱく学園

共催：島根県商工会議所連合会、一般社団法人新極美術協会、わんぱくデザイン研究所

協賛：一般財団法人ごうぎん財団

特別協賛：出雲大社、

場所：インターネット上での開催

展示：国内&国外20ヵ国 島根県、鳥取県、神奈川県、兵庫県、東京都、オランダなど
凸版印刷、障がい者アート協会

20人の個展（どりーむに通うアーティストの力作をネット上で紹介、絵本 陶器、工芸品等計700点

協賛出展：ごうぎんチャレンジドまつえ

- ① 個性確立の大事な機会ととらえる。そこから各自を売り出すかたちをとりたい。
- ② 軽作業の安定的な受注を目指す。アイ・ねっと(株)が運営する太陽光発電所に植えたハーブの管理を強化する。園芸好きの新人の利用者の活用を目指し、効率を上げたい。
- ③ 絵本「ぼくお父さん」の第2弾を企画と新たな絵本スタイルをエキスポで提案したい。

1) 本部事業

エキスポを門戸開放の絶好の好機ととらえ、契約アーティストを含み20名紹介
将来的には世界から利用者を募りたい。2025年には世界的規模での事業に展開したい。
あわせて継続した会員確保につなげたい。

2) わんぱく学園事業

新型コロナウイルス（Covid-19）感染拡大の状況を踏まえ、参加者の心のよりどころに
繋がるよう活動をしていきたい。

3) 就労継続B型事業（わんぱく大使館）

Covid-19感染拡大防止に努めたい。SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）
やホームページを活用した在籍アーティストの作品PR、アーティストの作品を二次利用
した商品の開発販売することから、インターネット販売の収益向上につなげたい。
凸版印刷（株）や（一社）障がい者アート協会と協力しながら、アートへの二次利用を
含めたアート収益の向上につなげたい。

ハープ事業をはじめ、受注先への配慮に感謝しながら、引き続き安定した協力体制を
構築していきたい。

4) 相談支援事業 相談支援専門員の資質向上をはかりたい。職員の資格取得者をふくめ、
相談支援専門員の確保ができるよう努めていきたい。

5) 共同生活支援事業（わんぱくハウス）

Covid-19感染拡大防止に努め、施設利用者が安心安全に生活できるよう、職員の人財
育成に努めたい。あわせて施設利用者の確保に繋げていきたい。

6) その他、新たな商品開発、アイデアの創出により、ビジネスの活性化をめざしたい。